

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年2月28日

事業所名: ブロッサムジュニア玉里教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				業務改善(PDCAサイクル)は職員で話し合いながら進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後は第三者(外部の有識者)に評価を依頼し改善を行っていきたい。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				今後、専門的な研修を実施し療育活動に繋げていきたい。職員が学べる環境を構築していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				定期的に保護者と面談を行い、保護者のニーズを理解、把握に努め支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				支援会議で意見交換をしながら立案を行っている。より良い活動になるように取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				子ども達の特性や成長、興味に考慮しながら工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の状況に応じて個別療育の内容を立案し活動を行っている。	個別活動で取り組む課題を一人一人の成長に合わせて計画している。また、集団活動の中での目標も一人一人に合わせて設定している。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				毎朝、ミーティングを行い、支援内容、役割分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				毎日、反省会(情報の共有)を活動終了後に行っている。問題点については意見を出し合い、解決に向けてどうすれば良いか話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			専門システムを使用して社員間の情報共有を行っている。	ケア記録を取り、支援の検証、改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的に支援会議を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				具体的な支援内容(発達5領域)を設定している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				担任の先生と事前に情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現状ではそのようなケースがないです。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				療育センター等に相談及び助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今後、検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				地域で行われる会議等に参加し、連携していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日々の状況について保護者様との連絡を頻繁に行い、共通理解を持つようになっている。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		面談の中で保護者の悩みに寄り添い、一緒に考えたり、解決法を提案したりしている。今後はペアレント・トレーニングに力を入れて取り組んでいく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に説明、変更があればその都度、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				定期的に保護者様との面談実施、保護者様と関係機関の連携を強化していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		親子で参加できるイベントを企画し、保護者同士の交流の場を提供できるようにする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				児童及び保護者からの相談や意見は真摯に受け止め迅速に対応をしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				毎月、教室だよりを発行している。活動概要や行事予定が分かるように工夫している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報の取り扱いには十分に注意している。職員間でチェックしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報伝達は白板、イラスト等でわかりやすく表示しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			課外活動での地域の方々との交流、中学生の職場体験の受入れを行っている。地域住民と交流や活動が出来るように、地域の行事に参加したり、地域の方を招いて行う活動を計画していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			職員全員で対応できるように話し合いや訓練を行います。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				毎月1回、様々な場面を想定して避難訓練を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				職員会議で虐待防止の確認(チェックリスト)を行っている。定期的に研修及び委員会を開催していく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				職員会議で身体拘束の確認を行っている。定期的に研修及び委員会を開催していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				現在、アレルギーのある児童はいないが、アセスメント時に保護者へ確認を行って対応している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハットを作成し、改善点を話し合い実行している。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)